

新 圭子



概要

氏 名 新 圭子 (あたらしけいこ)
職 業 声 楽 家
住 所 熊本市坪井2-8-15
主な活動地 熊本県内各地

特別賞

新圭子氏は、昭和二十一年東京音楽専門学校(現・芸大)中退後、声楽の道に進まれ、昭和二十七年の毎日音楽コンクールの入賞を果たした後、研鑽を重ね、熊本における主要なコンサートのソリストとして、現在も活躍中です。

昭和五十七年、熊本県立劇場開館記念コンサートでは、第九交響曲を好演するとともに、再度にわたる東京公演においては、「音楽の友」や「朝日新聞」に格調高い抒情性と高い評価を得ています。また、ベルカント唱法(イタリアの伝統的な歌唱法で、喉に無理なく低音から高音まで、気持ちよくのびやかに歌える方法)への情熱は現在もつきることなく、息の長い歌い手として現在も研究に尽力しています。

同様に、九州女学院中学校、県立第一高校、熊本大学教育学部音楽科の講師などを歴任するとともに、昭和二十九年手取カトリック教会に於いて受洗。昭和四十一年受洗名「聖子エチリア(音楽の守護の聖人と仰がれている)」にちなんで「エチリア会」を創立。主宰者として今日に至っている。ミサ中の典礼に於いて音楽の奉仕活動に当たるとともに、熊日学生音楽コンクールや熊本新人演奏会の審査員を務めるなど、後進の指導にも貢献があります。

昭和五十年には熊本県文化懇話会賞、平成十八年には熊本県芸術功労者表彰を受賞しており、後進の指導に当たる傍ら、自らもソングライター兼作曲家として積極的にリサイタルを開催するなど、県の音楽文化活動の発展に大きく寄与しています。

これまでの活動歴

昭和二十七年	毎日音楽コンクール入賞
昭和四十一年	「子エチリア会」創立主宰
昭和四十三年	熊日学生音楽コンクール審査員に就任
昭和四十九年	東京でのリサイタル公演
昭和五十年	第十回熊本県文化懇話会賞受賞
昭和五十三年	熊本県新人演奏会審査会の委員に就任
(平成十四年)	
昭和五十四年	東京でのリサイタル公演
昭和五十五年	イタリア歌曲のみのリサイタルに新境地を開拓
昭和五十七年	熊本県立劇場開館記念コンサートで第九交響曲を好演
昭和六十年	「童謡唱歌研究会」の指導者に就任
平成三年	国立音楽大学中川順子氏とのシヨイントリサイタルを東京にて開催
平成十七年	益城町文化会館にて、ソングライタータル公開録画
平成十八年	第三十四回熊本県芸術功労者表彰